

トルコの新型コロナウイルス感染症の状況 (8)

3月10日に初めての新型コロナウイルス感染症の症例が報告されたトルコでは、5月に一旦感染の収束傾向が見られ、6月以降は「ニューノーマルのルール」に準拠することを条件に経済活動、国内外への移動等の規制、国外からの渡航者の受け入れ等を大幅に緩和した。一時期は1日あたりの感染者が1,000人以内、死者が20名前後までに減少したが、8月以降に感染再拡大の兆候が見られ、9月には第1波の第2ピークが到来、10月以降も感染はさらに広がり、連日、新規感染者2,000人以上、死者60名以上という深刻な状況に陥っている。10月下旬にエルドアン大統領の側近であるカルン大統領府報道官やソイル内務相等が軽症だったもの相次いで感染したことがトルコでは話題となった。

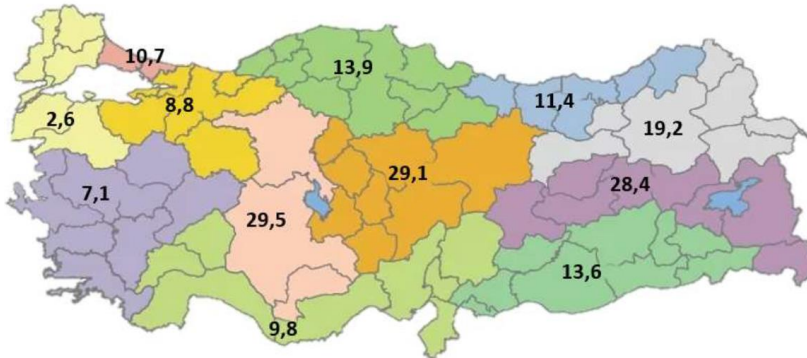
11月9日現在、検査数累計15,273,222件(145,411件/日)、発症者数累計396,831人(2,576人/日)、死者数累計10,972人(85人/日)、快復者数累計340,286人(1,207人/日)、重症者数2,047人で、発症者のうち肺炎罹患率は4.2%(減少)、病床使用率は53.5%(増加)、ICU使用率は69.9%(増加)、人工呼吸器使用率は34.9%(増加)となっている。致死率は2.7%と低く抑えているが、累計死者数は10月28日に1万人を超えた。

内務省は11月4日、感染の広がりを受け、全県に対し飲食店、娯楽施設、スポーツ施設の営業施設の営業時間を22時までとすること、公的機関や民間企業におけるテレワークやフレックス、ローテーション勤務の導入等の推奨、混雑した場所を避けること、自宅への来客招待を減らすこと、必要不可欠な場合を除いての家庭外の人との接触を極力控えること、等の通達を発出した。

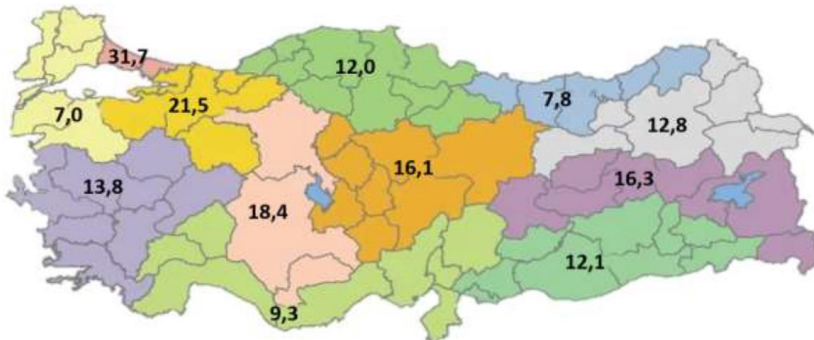
尚、トルコの大学や研究機関ではワクチンの開発が進んでおり、一部では臨床試験も開始した。国民からワクチン開発成功への期待が寄せられている。

10万人当たりの地方別新型コロナウイルス新規感染者数

(9/21~27)



(10/19~25)



*イスタンブルや西部で増加傾向がみられる。
(出所：トルコ保健省 HP)